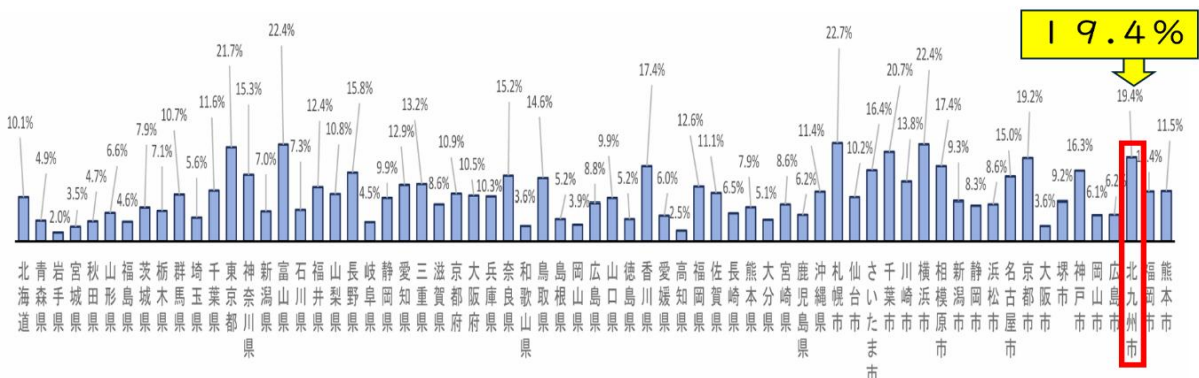
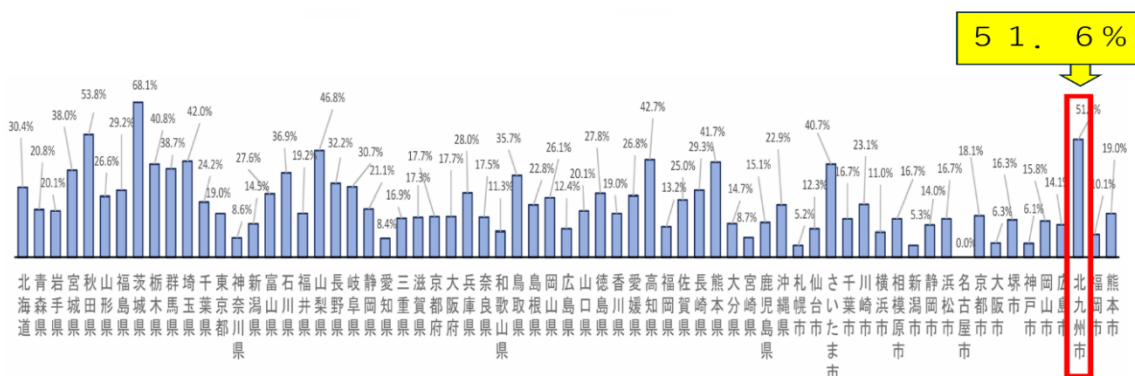




(3)ALT の授業参画の割合の高さ

中学校の英語の総授業時数の半分以上の時間、ALT が参画する割合は 51.6%であり、全67自治体中3番目の高さ(令和5年度調査)



3 北九州市における外国語教育の取組

教育委員会では、平成28年度から、「外国語教育リーディングスクール」を指定し、授業公開や教員研修の充実を図るなど、10年間にわたり、継続して授業改善に取り組んできたところである。

令和6年度から、児童生徒が「自分の考えや気持ちを即興的に伝える力」の育成を目指した「北九州市型外国語教育」※の推進に取り組み、ハンドブックを作成するなど、全ての市立小中学校において、取組の共有と展開を進めている。

今回の結果はこうした取組の成果と捉えており、引き続き、その充実を図る。

※【北九州市型外国語教育の特徴】

- (1)アウトプット(話す・書く活動)を重視した本市独自のカリキュラム
(2)小学校低学年からの英語体験活動と9年間の系統性のある外国語教育
(3)学習したことを試す場の設定(ALTとの1対1のやり取り等)

4 令和8年度の取組

引き続き、これまで実施してきた英語教育の取組の充実を図るとともに、令和8年度においては、『英語を「使う」喜びを！』をテーマに、児童生徒が学んだ英語をアウトプットする場を提供するため、2つのイベントを実施する。

(第1弾)夏休みオンラインイングリッシュタイム(7月)

- ・自宅から ALT と英語で交流を実施。(R8 300 名参加予定)

(第2弾)イングリッシュフェスティバル北九州(10月)

- ・学んだ英語をリアルな場で試す、北九州市最大級の英語体験イベントを実施。